

ご意見・ご指摘①

年による審査員の職種が変動することで採点に偏りはないのか？来場者の採点で地の利は生じないか？などの懸念が生じます。

福井理事長、王理恵さん、料理研究家、出版マスコミ、旅行関係者、コーディネーター、野菜ソムリエ上級プロ代表 決められた各部門より選ばれた10名の審査員の得点のみで決定する方法が審査結果が公平になるのではないのでしょうか。

毎年、主旨が変わってきているように思う。特別審査員(企業のトップ)の方に響くようなプレゼンをした方が上位に行くような形になっていると思う。職業として活動するためには必要で、自分のPRにはよいかもしいないが、そうでない方と同じ基準で審査するのはいかがなものなのかと思う。今回は一般の審査員と特別審査員の票の配分もわからず、審査基準があいまいで不完全燃焼だった。

金賞の副賞ありき、特別審査員の話し合いで受賞者が決まってくるような気がする。

やむを得ないと思うが、地域バイアスがあって、関東の出場者が有利になっていると感じた。全体に水準は上がっていると思うが、逆に、へえー、と思うような内容の発表はなかった気がする。

地の利から関東圏の方々に有利に働くのではないか。正直、個人部門、コミュニティ部門を問わず、上位の一部の方々の活動内容が社会に与える影響があるとは思えなかった。

アワード事務局より①

最終選考の冒頭に福井理事長より案内をさせていただきましたように、今回の投票の配分は特別審査員:野菜ソムリエ審査員=2:8となっております。

一般審査員である野菜ソムリエさん以外に社会一般の目による評価を加味する意味で特別審査員に採点していただいております。

また、票の偏りを心配される方もおられますが、組織票等を考慮し、審査員お一人につき1票ではなく2票ずつ投票いただいております。

最終選考の会場となる東京近郊の関東が有利とのご意見もいただいておりますが、受賞者の方は神奈川県、沖縄県、千葉県、福岡県、東京都、熊本県となっており、過去の金賞者は奈良県、福岡県、埼玉県、大阪、沖縄となっております。

ご意見・ご指摘②

地区予選が東京で行われたことは地方からの参加者には大変負担です。予選は資料審査だけで本選でもいいと思います。

インターネット中継で全国の野菜ソムリエに投票してもらえたら良いと思います。限られた人だけの出場ではなく、会場に来られない人にも、プレゼンと投票のチャンスを広げられたら面白くなると思います。

コミュニティ部門のマナー化は否めないと思うので、コミュニティ部門だけ3~4年に一度でいいと思います。

アワード事務局より②

皆様からのご意見を参考にしながら、次回開催については現在、慎重に検討しております。詳細が決まりましたら、改めて発表させていただきます。

ご意見・ご指摘③

関東甲信越と東北北海道の合同開催は他地区と比較し不公平である。

皆さんの活動がよく分かり大変勉強になりました

会場までが遠いため、同じ遠いなら今後、全国持ち回りで開催し、担当県で勉強会などあれば色々学べて良いと思いました。

地区大会が今年から 北海道東北と関東甲信越大会が同時開催となり、投票も同時となったので、東日本大会ですよね？地区大会の主旨を曲げてしまった理由を知りたいです。協会が仙台事務所なくなってコストの関係でしようが、本来はあり得ないです。地区大会をやるなら、しっかり地区大会をして欲しいです。

アワード事務局より③

今回は「関東・甲信越地区選考」と「北海道・東北地区選考」を同日に東京にて開催しました。

北海道・東北地区の皆様には遠方からご参加いただき、感謝いたしております。

会場は東京でしたが、「関東・甲信越地区」から各部門上位2名と「北海道・東北地区」から各部門上位2名を選出し、別の大会として開催しております。

また、以前より「近畿地区」と「中国・四国」の地区予選を同日に大阪にて開催いたしております。

今後も交通の利便性や会場の問題から最終選考は東京にて開催させていただく予定です。

ご意見・ご指摘④

野菜ソムリエの正装は黒皮靴ですよ？

終了後に観客席の方から、「コミュニティ部門でフェアに挑戦していない方がいた」という内容を耳にし、ビックリして、何だか残念で悲しくなりました。

また、正装違反をしている人が何人かいました。

プレゼンの際に観覧席から発表者に対してスケッチブックを使って残り時間を分単位で教えているコミュニティがありました。発表者の方は今回からペーパーレスで登壇されたと聞いていますが、こういったカンニング行為が許されるならフェアではないと思います。

又、終了後に発表者の方から服装違反や組織票が堂々に行われていると聞きました。

参加された皆さんが清々しくアワードを楽しめるようにルールの厳格化をお願いしたいです。

アワード事務局より④

次回の野菜ソムリエアワードご案内時に正装の詳細についてご連絡させていただくと共にアレンジされる場合は申請していただくことといたします。

また、プレゼン中の薄暗く広い会場で行われていたことの全てを把握することは大変難しい状況です。しかし、参加されている皆様に満足していただけるように改善して行きたいと考えております。

また、ご参加いただく皆様に信頼して運営しており、皆様が正々堂々と日頃の活動成果を発表いただくことを願っております。